

PRESS RELEASE

2018年01月31日（水）

株式会社 唐沢農機サービス

唐沢農機サービス、国内生産量日本一を誇る 「長野県東御市のくるみ」をもっと知ってもらうための クラウドファンディングをスタート。

平成30年1月29日、株式会社唐沢農機サービス（代表：唐澤健之）は、自社の所在する長野県東御市とその特産品である「くるみ」のブランド強化を目的として、クラウドファンディングを活用によるPRを開始した。

クラウドファンディングとは、“ある目的、志などのために、インターネット上の不特定多数の人から資金を集める行為、またそのためのネットサービスのこと”。大衆（crowd）と財政的支援（funding）を組み合わせた造語である。

東御市のくるみは、国内一の生産量を誇り、大ぶりで殻が剥きやすく、味は濃厚で栄養価も高い。

唐沢農機サービスは、モノがよく、高い生産実績があるにもかかわらず世間にあまり知られていない優秀な商品やサービスを幅広い層への浸透させる手段として、上記のクラウドファンディングの特性に着目。東御市の特産物である“東御くるみ”のファンを集め、オンラインでの拡散から東御ブランドの認知拡大を図ろうと考えた。“東御くるみ”は年間を通して供給できる東御固有の商品でありブランディングに最適である。

クラウドファンディングに不可欠なのが強い情報発信力である。唐沢農機サービスは8年前から、東御市を含む長野県東信地方の特産物を販売する“農家直売どっとこむ”というショッピングサイトを運営しており、これは東御市の特産物を全国に販売している数少ない窓口である。

唐沢農機サービスは、このサイト運営で培ってきたノウハウをクラウドファンディングに活かすことで、“東御くるみ”をより広くアピールでき、より多くのファンを獲得できると考えた。しかし、“東御くるみ”を大々的に盛り上げるためには、自社在庫のみでは量不足である。そこで協力を仰いだのがJAである。

JAは、東御地区に限らず日本の農業には欠かせない存在。JA信州うへだは、長年、東御のくるみの生産活動に関しても積極的に支援してきた。開墾を進め栽培地を増大させ、苗木の供給、適切な栽培指導などを積極的に実施。“東御くるみ”の量的な増加を旗振りしてきた。また、洗浄設備の提供や自然乾燥の推奨、厳正選別のうえでの適性買取りといった取り組みで、高品質化にも寄与。“東御市のくるみは生産量も品質も日本一”といわれるまでにした立役者でもあった。くるみ農家との連携も強く、“東御くるみ”の量を充分確保できるチカラをもっている。

高品質な“東御くるみ”を安定供給できるJA信州うへだの協力のもと実施される今回の“東御くるみ”のクラウドファンディング。これは、東御の特産物全体の“東御ブランド”の確立、ひいては東御地区の活性化につながる新しいプロジェクトである。

プロジェクトの詳細

<https://www.makuake.com/project/toumikirumi/>

【“日本一のくるみの里”東御市について】

東御（とうみ）市は長野県の東部にある、人口3万人ほどの比較的新しい市である。平成16年4月1日に、東部町と北御牧村が合併。東部町の“東”と北御牧村の“御”をとって“東御市”となった。

合併前、新しい市の名前を住民から募ったところ、“くるみ市”“胡桃市”という応募も多く、最後まで候補として残った。それほど、くるみへの東御市民の想いは厚い。



このあたりはくるみの木が多く良く育つ土地柄である。優良なくるみが育つ条件は

- 1.水はけのいい、南向きの傾斜面が多い。
- 2.昼と夜の寒暖差が大きい。
- 3.年間の降水量が少ない。
- 4.日照時間が長い。

であるが、“日本一のくるみの里”といわれている東御市はこの条件をすべてもっている。

【本件の問合せ先】

株式会社唐沢農機サービス

住所：長野県東御市滋野乙3012-1

担当：神林（かんばやし）

電話：0268-62-5262

メールアドレス：info@karasawanouki.co.jp

【株式会社唐沢農機サービスについて】

商号：株式会社唐沢農機サービス

代表取締役社長：唐澤 健之

本社住所：〒389-0512 長野県東御市滋野乙3012-1

事業内容：新品機販売・農業機械修理・農業機械再生・コイン精米機運営
インターネット事業（WEBコンサルティング、WEBショップ運営）
農産物生産・農産物販売・輸出事業

ウェブサイト：<https://www.karasawanouki.co.jp/>

以上